

# キャラクターシート

## コート

ここに書かれていることはPC「コート」としての真実です。

また、あなたはフードを殺害していません。

- 12:00 シロと一緒にフードの家に到着。  
玄関でフードの母親が迎えてくれた。  
今日は彼女の誕生日パーティーだ。
- 12:30 階段を登ってフードの部屋へ。  
登るときに階段がやけにきしんだ音を立てていたのを覚えている。
- 1:00 1階が何やら騒がしい。  
今日の参加者であるアンバーから連絡が来た。  
どうやらフードの母親に追い返されたようだ。
- 1:30 トイレに降り、窓を開ける。
- 2:00 リビングでフードの母親と会話をする。  
このすきに、アンバーがトイレの窓から侵入した。  
階段の音をごまかすために降りてきたフードとアンバーが一緒に上がる。
- 2:30 フードの部屋に行き、皆でフードを祝う。  
この後予定があるとアンバーが帰ろうとする。  
階段でフードの母親と鉢合せないように、2階の物置の窓から脱出した。
- 3:00 シロと一緒に降りたあと、トイレに向かった。  
トイレの窓を開めた。
- 3:30 キッチンでフードの母親を手伝う。
- 4:00 フードの部屋に戻る。  
フードの死体を発見する。

4:00以降の記憶は何も思い出せない。

いったいどうなったんだっけ。

・あなたにとってフードはどんな人物だった？

……大親友だよ。

自分の弱いところも見せられたし、彼女のどんなところも知っていた。

あの誕生日会だって素敵な日になるはずだったんだ。

・あなたにとってシロはどんな人物だった？

そうだな、よくは覚えてないが……。

気付けば一緒にいた男だ。

恋愛感情とか、そういうものは私はさっぱりない関係だったよ。

ただ、今のあいつからは少しぎこちなさを感じる。

・あなたにとってアンバーはどんな人物だった？

優しいお姉さんって感じかな。

ただあの頃は様子がおかしかったんだ。

なんだか顔色も悪いし、プレゼントとかの回数も減ったし……。

大人になったからと考えるとすればそこまで不自然ではないのだけれど。

・あなたにとってコートはどんな人物だった？

私か。あの頃はまだ素直で純粹だったよ。

何もしなくても夜眠れていたんだ。

今じゃ酒とタバコに逃げるだけの毎日だね。

自分がまるで深い闇の中に閉じ込められたかのような気分です、

ただ毎日を過ごしながら、

何かが私を殺してくれるのを待っているんだ。

▼コート

